明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可　（日刊）　月曜及祭日の翌日休刊　明治四十四年二月四日　（土曜日）　第六百十八號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日休刊
發行兼編輯人 眞木久馬太
印刷人 松久紳一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

●駐鮮軍條例改正

現行朝鮮駐剳軍司令部條例は明治卅九年八月發布されたるものにして司令官は陸軍大將又は中將を以て親補し　天皇に直隷して韓國駐剳陸軍諸部隊を統率し韓國の防衛に任ずるにありて無限の權力を附與せられ居るものなるが陸相寺内子爵統監として八月下旬日韓併合の實を擧げしより從來文官主義たりし統監政治は武官の總督政治と變更したるにより自然の結果として駐剳軍司令部は從來の如く擴大するの必要を見ざることゝなり總て總督の配下に屬することゝなるべきを以て將來軍司令部を廢し臺灣總督府陸軍部條例の如く總督府に陸軍部（[illegible]）及海軍部を置き現在の駐剳軍は守備隊組織に變更するならんと傳へらる最も現行條例は當分現在のまゝ實施する都合なれば大久保大將の來る八月十八日現在停年滿限となり後備に編入さるゝ頃と相前後して組織の變更を見るべきかとの說あり

●北朝鮮と漁獲物

北朝鮮海漁業の有望なるは世人の知る如くなるも何分漁獲物の販路狹隘なる爲め十分なる發達の望なきを遺憾とし今回朝鮮總督府咸鏡北道廳は冷藏輸送に依り販路を內地に擴張したき希望を以て冷藏輸出の鮮魚引受の冷藏倉庫有無同鮮魚取扱の問屋會社の所在地、其他取扱手數料等を神戶商業會議所へ向け問合せ居れりと

●耆老者に向齒金

朝鮮總督府が全道に於ける兩班儒生耆老者に對し尙齒金として二百圓以下の恩賜金を下付したるが其後此の恩賜金下附を耳にせる朝鮮人は我も我もと兩班儒生の屆出でを爲し京畿道の如きは瞬く間に七百名に近き新兩班儒生を出したる程にて當局は更に民籍の調査を遂げ先づ九百六十八名（內兩班四百九十六名、儒生四百七十二名）の外に更に二百八十八名に對して尙齒金を下賜することに決し既に其筋に於て調査を了し尙齒金辭令の整頓中なるより明後四日頃には道內に配布するに至るべしといふ

●列强の海軍力

最近米國上院の海軍委員會に報告されたる調査に依れば列國現在の海軍力は左の如くにして米國は其第二位を占め日本は第五位にありと

	軍艦隻數	噸數	大型艦船數
英國	四七二	一、八五九、一六八	二六八
米國	二五三	七一七、七〇三	一三六
獨逸	二〇九	六六六、〇三九	一〇〇
佛國	四〇三	五五六、三〇六	九七
日本	一六九	四一六、二九一	六〇
露國	二〇一	二八四、一一三	三〇
伊國	二一四	二一九、九九九	三六

●朝鮮片爲替の弊

韓國銀行大阪支店は昨年九月開業以來昨年末に至る同地取立手形は米、牛皮、大豆等の代金取立等を合して百六十萬圓にして金塊代取立額百七十萬圓同支店取組朝鮮へ向けたる送金手形四十九萬圓朝鮮本支店より振向けられたる送金手形その他仕拂ひたる高は百〇二萬圓にして同業者の爲替尻に振込みたる總高百〇八萬圓政府送金取扱三百六十萬圓にして朝鮮の生業未發達のため未だ片爲替の弊を免れず內地より移入する品は矢張り綿布を主とし日用品等も案外多ければ綿布に對する割引手形の如き七八十萬圓に達せりといへば今後

外事一束

▲霧笛吹鳴停止　朝鮮南岸港門島燈臺に設置の霧笛は當分の內吹鳴を停止すと

▲移民禁止條項挿入案　米國共和黨の加州々會下院議員ボルスレーは米國政府が日本の要求を容れ新日米條約より第二條の但書を削除せりと聞て大に躍起となり之を豫防せんとの魂膽にて二十八日の州會に新條約に日本移民禁止の條項を挿入すべく同地方撰出上下議員に運動せんことを望む旨提案せり

▲醜行司令官辭職　或る醜行の爲め部下の排斥を受けたる太平洋艦隊司令長官バーレー氏は友人の勸告により遂に辭職せり

▲追放苦力の掠奪　ペストの爲め哈爾賓より追放されし苦力三千餘名二十六日夜より日本大資呼蘭廳中衙門を襲ひ之に火を放ち掠奪を縱まゝにせるが遂に長春より派遣せる官軍一大隊にて鎭壓し得ず更に二十八日兵一千人を急派せりと之が爲めに長春は兵力皆無となれるに目下隔離中の苦力三千人ありて往くに處なく形勢甚だ不穩なりとの報あり

▲浦鹽港灣の改修計畫　露國浦鹽港灣部は一千(?)百萬留の巨額を投じて[illegible]の下に同港の大改修を爲すべく其設計案を可決せり

◎新刊紹介

▲實業の世界　二月一日號三宅博士の英國流の商人と米國流の商人[illegible]流の奇警の論策にして[illegible]指針たるべく又板垣退伯の死せる伊藤と生ける山縣とは[illegible]なく[illegible]（發行所實業世界社）

▲東洋時論　第百四十八號二月二十日の發行[illegible]例に依り裏面目の編輯にして[illegible]讀むべきもの甚だ多し（發行所東洋經濟新報社）

▲東京經濟雜誌　六十三卷一五七三號專門家の論究に係るもの多く又田口博士傳は漸く佳境に入る（發行所經濟雜誌社）

▲朝鮮貿易月報　四十三年十二月迄の統計を示めし客年中の大勢を見るべし（發行所總督府）

山中鹿之助　七十一回　西尾麟慶演

之を聞て浮舟は驚き如何はせんと思ひしに、横田伴藏何ほも進み寄り 伴「コリヤ浮舟何も左樣に驚く事は無い、兼て屋敷にありし頃より汝に懸想爲る事年久し、此度の家の大變は此の身にとツては此の上もなき辛ひ、サア是れまで汝の跡を慕ひ來るは其方を遁れ行き宿の妻となさん爲めなり、サア素直に身共と一緒に參れど、既に斯うよと見へたる折りしも何れより現はれ出か乞食體人の男 男「コレ武家手弱き女子を捕へて何んとなさる、れ戲れ程がある、と云はれて伴の外は驚いたが 横「ヤー不禮者、吾を誰とか思ふ尼子九郎左衞門か家臣に猿者あり云はれたる横田伴藏樣を何んと心得るぞ、ヤイコリヤ、サア一命は無いぞ其處な野臥り邪魔ひろがさず退きをれいと刀の柄に手をかけて身がまへれば彼の野臥りはセヽラ笑ひ 野「吾儕の是へ出ぬ先は兎も角も、斯く吾儕此の塲に出し上からは、氣の毒ながら汝等は皆殺にして呉れるぞ覺悟いたせと、身がまへる 伴「何を小癪」と 一刀引拔き切り込み來るを 男「また入らさる腕立いたすかと脾腹を蹴た、アツとばかりに其の場へヅデンドウ八方より一度にかゝる組子の面々、何に小癪なりと右左りに蹴りちらす其の勢ひ猛虎の如く、敵はヒヤ思ひけん、組子の奴等は宙を飛んで敵はぬ逃げろ〳〵と呼はりつゝ何處となく蜘蛛の子を散すが如く逃げ失せたり、後ろを見送り苦笑ひをして椽先にドツカリ腰うちかけた、始終の始末に蘇生したるが如き心地し、浮舟は已れの前のシグラなく相成り居りまする姿を搔きつくらふて、殷と叮嚀に其の場に兩手を突き 浮「何んと申上げて宜しいやら此れ禮は詞に申されません、妾し夫婦の身に取りましては、貴下樣は神か佛か危ひ處をれ救ひ下されれ如何なる御方か御名を明したまはれ、便りなき此の身の力ともなりたまふて何卒れ救ひを。と斯く述べますを彼の乞食は打ち笑ひ 乞「我が身を左やら慇懃に問はれて名乘るも烏滸がましう御座るが自分は最前より床下に臥ッて居りながら、貴女の歎きを承はり思はず落涙いたして御座る、我は元播州室明神の神職藪中主人の枠卯之助と申するものなり、幼少よりして氣性荒く、喧嘩を好みて力をもッて人を惱さしめ、世の破落漢と異名をつけられ行く人々に爪はぢきせられて、宛然吾儕に障るを尖か茨にでも障るが如く存じられる、其の惡口の影ごとを自然と自分が聞き知ッて遂には茨之助と改名なし、夫れを宜きことに亂暴狼藉いたし、親にも遂に見放されて勘氣を受け、夫れを宜きことゝし存じて身持を益々惡しくなし先の年より此の播磨の室の津の港に傾城樓といふ遊女屋に以前大阪にあつて勤めを爲せし浮橋とかいへる遊女に熱くなり、互ひに深くなるに從ひ、遂に身を持くすす基となり、トウ〳〵一身の罪を受くべきところも無きが故に、身貧に陥り今日ごとき斯くの姿にて饑ゑなれど、今日此處に野臥いたす身に相成り候らえても、人の物を盜み取りいたす樣な者の心得ならず、サア我が身の上は斯くごとく、天下浮浪の截中茨之助と申する者にて候らよぞ」と始終を述べ終りました、此の時浮舟小膝をたゝひて進みより 浮「左やうな次第で御座ひまするか、夫れにしても最ども不思儀なれ縁しの御座ひまする、何をれ隱し申しませう妾しは其貴下樣が御最負下されし浮橋が姉にあたる大坂にありし浮舟と申するものにて候らふ」と此の言葉にウンと諾いて 茨「その浮舟と云はるゝ人は尼子の藩中横井兵庫之助の妻となりしと云ふ事は兼々彼の浮橋より聞きおよんで候らふが、如何して斯くのごとき事に相成られましたるぞ」と問はれて殘ど胸せまり、愛で抑ま鹿之助に兵庫の横道にて助けられし以來より、早川鮎之助に賊船にて出で遇ひ夫れより身請をされて上月の城內に罷り越せしこと、今日學の愛に及ぼせし始末を殘らす語つて涙を拭つて、古葛籠を指さし示して、其內に良夫の虫の息なる哀れの姿を茨之助に示して又暫く涙にくれました。



東京電報（三日）

▲東宮御避寒 東宮殿下は本日新橋御發車葉山に御避寒あらせられたり

▲皇后陛下清水港行啓 皇后陛下には昨日清水港に行啓（チヨ千代田か）乘羽二艦の演習を御親覽遊ばされたり

▲王世子に恩賜 天皇陛下には特別の御思召を以て一日李王職制實施と同時に鳥居坂御用邸全部御用邸附屬備品一切竝に李王世子殿下用御馬車一臺隨員用馬車一臺騎用馬車一臺騎馬四頭を御下賜相成りたり（二日午後發）

▲獨皇儲の御來遊 獨皇儲には滿洲ペスト蔓延に就き本年の極東御來遊を中止されたるが來年更に御來遊あるべし

▲衆議院本會議 本日の衆議院定刻開會諸般の報告後日程に入り一瀉千里の勢を以て日程は續々委員附託となり最後北陸帝國大學建議案に就き戸水寛人氏は其提出理由を説明降壇せんとするや鈴木天眠は登壇一蹴北陸に大學を建設せば朝鮮にも必要なり何故朝鮮をも加へざるやと怒號し戸水代議士は朝鮮にも順次建設の豫定なりと茶々溷し情氣諤々の中に三時半散會せり

▲朝鮮追加豫算 本日の貴族院豫算總會に於て朝鮮總督府追加豫算案を附議したるが原案通り可決したり

▲事後承諾案 國民黨は事後承諾案に對して不承諾を聲言し政友會は爲めに再調査委員五名を設けたり

▲桂首相の言明 桂首相は其の親近なる中央俱樂部の某政客に語つて曰く、予は政友會に入會するの意なし又現内閣は依然桂内閣なり政友會との提携は單に難局を切り拔けんが爲めにして政權讓渡の約ありと揣摩するは全く虛説なりと

▲東拓改革説 朝鮮併合の結果生じたる東洋拓殖會社組織變更の議は目下調査中にて移民事業のみ總督府に移し農林並に漁業及び金融機關を現在の儘東拓會社に營業せしめんとの議あれども之に反し移民事業と最も密接の關係ある農林並に漁業經營をも總督府の手に收め東拓會社は内地勸業銀行と同じく單に不動產銀行たらしめ以て農工商資金の運轉を圓滑ならしめんとの主張あり此議は最も有力なるものにて從つて組織變更の件決定せざる限り計畫されたる外債募集は一時之を見合す事となるべしと傳へらる

▲蠶糸業法案 政府は本日蠶業法案を衆議院に提出したり內容は同文五十二條にて蠶病の豫防驅除蠶糸業組合に關する規定を設けたり

雜報

●李王殿下の德壽宮訪問 西曆四日は陰曆六日に相當するを以て德壽宮に於ては恆例に依りて盛宴を張らるるに付き李王同妃兩殿下には四日午前十一時御出門德壽宮に成らせられ午後三時三十分歸邸せらる豫定なり

●王家官吏の分課 今回任命せられたる李王家官吏の官等並に分課を聞くに左の如し

長官（勅一等）閔丙奭
次官（勅一等）小宮三保松

▲庶務課
文書主任 事務官（高六）靑山淺治郎
調査主任 同（高六）尹世鏞
人事主任 同（高六）村上龍信
記錄主任 同（高五）金東完
出納用度主任 同（高七）佐伯達
主任 同（高三）李會九
主任 同（高五）蛯川新
主殿主任 同（高五）林文太郎
同（高三）李謙濟
同（高六）權藤四郎助
厩舎主任 同（高四）李起泓

▲掌侍係
係長兼贊侍主任 贊侍（勅二）尹德榮
禮式主任 事務官（高三）高羲誠
祭儀主任 同（高三）金奎熙
廟務主任 同（高五）多田桓
陵務主任 事務官兼（高六）村上龍信

▲掌苑係
博物館主任 事務官（高七）末松熊彦
植物苑主任 事務官（高三）俞致衡
動物園主任 技師 高七）岡田信利

▲李太王附職員
事務官主任 事務官（高三）李恒九（高三）津耶英爵（高三）劉燦（高六）嚴柱承（高七）金相昱、外十名
贊侍室主任 贊侍（勅二）金春熙

▲王世子附
事務官（勅二）高羲敬
贊侍（高七）嚴柱日
典醫 小山善
外屬三名典醫補一名

▲李堈公附
事務官（高七）增田英信
事務官（高四）金澤基
外屬五名

▲李熹公附
事務官（高七）黑崎美智雄
同（高七）李仁用
（兼務）同（高五）林文太郎
（兼務）贊侍 李喬永
外屬五名

●定例長官會議 三日は定例日に當れるを以て總督府にては山縣政務總監、石塚取調局長官、明石警務總長、小原内務部長官代理、鈴木度支部長官代理、小城通信局長代理、小松外事局長、倉富司法部長官、木内農商工部長官等列席午前十一時半より定例長官會議を開き政務に關して夫れ〲打合せする處ありたり

●憲兵司令部主任會議 三日午前十時三十分より憲兵隊司令部に於て經理軍醫獸醫部の各主任會議を開き山形中佐、藤山主計正、太田、松村の兩副官、宮尾一等軍醫、高塚一等獸醫の諸氏列席防疫其の他に關し協議したり

●面制設置と行政 從來面は行政區劃中殆んど其單位に等しく面長の如きも最も下級なる行政の補助機關に過ぎず爲めに郡の行政事務は常に忙殺され其不便少なからざりしが今回當局にては從來の形式的行政機關たりしを改め實施上一機關とせんが爲め面制を布くこととなりたる由なるが京城府の如きは固と面なるものなく其行政も爲めに繁雜を來たしたりしが今回同時に面制を布き啻に徵稅事務のみに止まらず一般の行政を爲さしむる方針なりといへり

●煉瓦製造所の近況 建築材料を潤澤ならしめ且良品を廉價に供給する目的を以て模範事業として光武十年麻浦に創設せられたる煉瓦製造所は漸次其規模を擴張して永登浦に分工場を設置し一方建築所に附屬して煉瓦、土管、瓦等の製造に從事せる煉瓦製造所の事業は特別會計に屬し四年度豫算に依れば作業費十六萬五千三百一圓にして作業收入十六萬五千二十一圓及雜收二百八十圓を以て之に充當せりといふ

●郵便局の增設 朝鮮に於ける現在の郵便局同取扱所等は合せて僅かに五百餘に過ぎざるが併合後内地人の移住者激增し各地共に人口漸次稠密となりたるを以て總督府通信局に於ては各地の狀況に應じ本年度豫算通過後は出來得る限り郵便電信局同取扱所を增設し通信機關の完備を計る方針なりと云ふ

●棉花栽培會社進捗 東西紡績業者中重立ちたる人々の發起に係る朝鮮棉作事業は創立委員長の人選に手間取りて一時行惱みの姿なりしが新春に入りて東西紡績業者の意向愈々一致し既設韓國棉花會社及棉花栽培協會も亦共同して栽培事業に着手することに協議纏りたるは既報の如くなるが日比谷平左衞門氏は數日前桂首相及び寺内朝鮮總督と會見して政府の意向を確めたる所眞面目なる實業家が眞面目に經營せんとならば政府は運輸交通其他の點に於て出來得る限りの便宜を與ふるに吝ならざる旨を言明したるより計畫は俄に進捗し去る二十五日發起人一同東京に會合して種々打合せをなしたる結果資本金を五百萬圓會社の名稱を棉花栽培株式會社と定め日比谷氏を創立委員總代となし近々具體的の發表をなすことに決したるが株式は多分全部發起人及び贊成人に於て引受け公衆募集をなさゞる筈なりと聞く因みに現在發起人及び贊成人として署名調印濟の者は日比谷平左衞門、和田豐治、佐久間福太郎、田村利七、田村正寛、柿沼谷藏（以上東京）武藤山治、山邊丈夫、谷口房藏、渾大坊芳造（以上關西）等諸氏なりと

韓國分析所成績 主任西岡恒二郎氏談

吾が分析所を當地に企劃せしは客年六月にして其後種々の準備の爲め三箇月餘を荏苒し實際に開業を見るに到りたるは實に十月一日なりき當時韓國銀行の本計劃に對する態度たるや區々たる市井の地金買集所に過ぎざるべしと思惟し何等重きを置かざる如くなりしが愈々其設立の實地を見るに及むで始めて設備の完全せるに驚き大に意外の感を爲したりと聞く而して當所は韓國銀行の夫の如く**日本政府造幣局納入を本位**とし其他に對しては厘毛微と雖も取引を爲さず又开が納入手續として某銀行大阪支店と契約せしが或る事情の爲め遂に斷絕の餘儀なきに到り目下大阪の或る大會社へ依托し居れり開業以來の成績は未だ誇稱すべき程の事實なしと雖も之れを一ケ月に平均すれば約**地金約廿貫目**强の取引ありて先づ大体にかて良好なる効果を收めつゝあるものと信ず現在の買入價格は一匁四圓九十五錢にして各所共同一價格なるが一方造幣局買上價格は五圓なるを以て其差額五錢の利益あるも此利益の中より保險料運搬賃大阪代理店の手數料並に金利を始めとし分析に伴ふ自然の減損等を扣除すれば殘す處幾干もなし思ふに**韓國銀行は政府**より特別の保護を被り居れば又格別なるも何等の保護なく便宜なき**個人經營**に在りては如何に夫れ至難なるか推知し得べきなり唯だ他の事業と異なり其取引の簡易明瞭にして些の曖昧模糊を許さゞるは蓋し本事業の特色なりとす而して朝鮮人は一見狂愚の如くなるも多年の經驗は恐るべき能力を備へ**目分量**を以て算定せるもの能く適中し現に精密なる**衡器**を籍り計量せるものと大差なき實に不思議と思はるゝ位なり故に此間苟くも欺罔手段を容れざるを以つて彼我共に相信頼し最も圓滿に取引せられつゝあり目下の出廻りは結氷期に際せる爲め極めて少額にして各所とも亦然らんと信ず尙は一年間に於て產出の最も多量なる時期は農閑時にして六七月の候なりとす亦多年の經驗によれば適度の降雨ある時は產出多量なるも若し霖雨の爲めに洪水等の事あれば非常の減量を示めせるもの〱如し思ふに朝鮮は到る處砂金の存在を見之が爲めに將來彼等の生產的能力漸々向上せば其產額倍々增進すべきは決して疑を容れざるなり現在の產額は確實なる計數の知るべきなしと雖も輸出入統計以外に於て**清國人の買集高**蓋し尠からざるべし是等は多く原產地に於て直接買集せられ懷中して輸出せらるゝを以て何人の注意にも上らざるもの〱如し云々

●韓海水產研究會 去る二十五日より三日間韓海水產研究會を鹿兒島縣廳内會議室に開會すべき由は各地提出の諸案件と共に既報したるが右議件を議了し最後に長崎縣外三縣より提出したる**東洋拓殖會社に與へたる漁業免許取消方**請願の件は滿場一致を以て原案の元韓國農工部大臣の東洋拓殖株式會社に與へたる平安北道に於ける鮟鱇網漁業の免許は違法と認むるのみならず之れが爲め該方面へ出漁する當業者の蒙る不利益甚大にして且つ本年の漁期日睫に迫るも本問題の解決せざるため出漁する能はざるに至るは啻に當業者の不利益は勿論邦家の損害亦尠なからず依つて速に之を取消し一般に解決せられんことを朝鮮總督に建議することを可決し同建議案は可成速かに主催縣より朝鮮總督へ宛て發送することゝなり次回の開催地は申合せの上大分縣に開會することに決定したり因に朝鮮水產組合よりは技師高橋永太郎氏臨席す

●韓海漁業會社近況 既に第一回の拂込を了したる同社の株式所有者は證據金拂込の際東京が大部分を占めたるに近來に至りては總株式中約二万株は大阪、京都、神戸地方へ四五千株は其他の地方へ移動したりとのことなるが其の原因を聞くに會社は普通の漁業會社と組織を異にし魚市場部倉庫部の收利尤も確實にして元山市場の取引高のみにても一個年の金額四十二萬圓に上り尙朝鮮東海岸に於ける明太魚の產額は一年約百萬圓に達するを以て此等の手數料九萬餘圓ある外倉庫部の利益一万餘圓あり株主に對して約一割五分の利益を配當せらるべく期待せらるゝやにて關西の實業家は次第に同社の株式を買收したる結果なりと云ふ

●蠶種貯藏風穴發見 義州金鳥山の中腹に蠶種貯藏風穴を發見し目下其試驗中なるが既報の如く今回又々平安南道に新風穴を發見したり該風穴は平安南道祥原郡上道面佳珠洞雲音山に在り古來佳珠窟と稱し四季常に寒冷なれば蠶種貯藏には最も適當なるべしとのことにて同道廳より農商工部に向け其試驗方を申出でたる由なるが農商工部にては不日技手を出張せしめ是れが調査を遂げしむる筈なりと

●京畿諸郡の近狀 頃日歸京したる人の談片を記すれば如左▲長湍、開城等を旅行し約二週間を費し楊州、抱川、永平、漣川、朔寧、土城、各地方共平穩にして何れも新政に悅服し居れり暴徒は嚴重なる警備搜索の爲め山中深く逃走して往く所を知らず又賊徒は舊年來に際し五六名出沒したれど取立て言ふべき事もあらず▲目下納稅期に際し居れるが昨年は凶作の爲め納稅成績は例年に比し頗る良好なり△漣川に於ては納稅上より土地問題に關し紛紛を極め居れるが選は人民所有の土地、帳簿記入と相合せず多少甚だ雜然たるより惹起せし郡なるが不日土地調査結了せば從つて自解すべし△私立學校は甚だ振はず續々廢校の景況なるが之れが爲め普通學校は生徒增加の傾向あり學校に於ける日本語の教授は盛んなれど何れの教師も日語の素養淺くしてものになるの見込なし

●警官練習生習業式 警官練習所に於ては第三期短期練習生十九名に對して四日習業式を行ふ尙ほ來る六日には巡査補二十八名の入所式を行ふべしと云ふ

●各團隊長の歸任 第二師團に召集せる團隊長會議に列席の爲め來龍せる步兵第二十五旅團長齋藤少將、步兵第四聯隊長河内大佐、步兵第三十二聯隊長岡澤大佐、步兵第二十九聯隊長森大佐、野砲兵第二聯隊長鈴方大佐、工兵第二大隊長野一色中佐及び步兵第三旅團長代理平野大尉等は夫れ〱今明日中に歸任の途に就く筈なり

●明石總長の電訓 明石警務總長は二日夜平安南道黃海道全羅南道忠淸南道慶尙南道の各警務部長に對し黑疫豫防に關し左の如き訓電を發せり

關東洲よりの通報に依れば芝罘はペスト猖獗を極め船舶交通上一層注意して遮斷を勵行すべし

尙ほ同時に京畿道警務部長にも訓令を發したりと

●藤田軍醫監出張 藤田軍醫監は新義州平壤鎭南浦等に於ける防疫現況視察の爲め四日午前當地出發新義州に向け同地二三日滯在歸路平壤鎭南浦等を視察の上九日頃歸任すべし

●仁川管内の防疫 仁川西南沿岸ペスト豫防に關し仁川警察署長一日永宗島へ出張し島民を集めてペストの尤も恐るべき事及び豫防に付き訓示をなし同島の要所に見張所を設け島民に監視せしめ監督としては警官一名を派出龍遊島、石島にも見張所を設置し監視せしむへく由尙ほ富平南村へも不日出張する筈なりと

●京城取引所不認可 京城山口太兵衞氏他二十氏の發起出願に係る京城取引所設置の件は今回其の筋より不認可の指令ありたる由なり

●選擧事務結了 當民團議員選擧も去一日相濟みたるが直に殘務整理に着手し二日夜を以て全く結了を告ぐるに到れり

●東部の敗戰に就て 東部の一團が今回の議員選擧に於て殆んど空前の敗戰を招きたるに就いては何人も意外の感を禁じ得ざる次第にして其原因は昨紙所報の如く餘りに自己の勢力を樂觀せしと又一は天候の後が如き陰惡なりしに依るは勿論の事なるが其深因を尋ぬれば東部には參謀其人を得ず之が爲に所謂大和町組の乘ずる所となれるは其至大原因として算ゆるの要あり現に同組が山口太兵衞氏の加盟するありて元老の勢力を振ひ盛んに辛辣なる手段を執りて東部を攪亂したるは蔽ふべからざるの事實なり而して東部候補の顏觸を見れば孰れも一流の錚々連なりと雖も如何せん如上の迫害と自然の天候とは常に他派の爲めに間隙を與へ斷くは不覺を取れるものなりと其撰擧通は語れり

●政務總監の滿足 過般執行せられたる民團議員の改選は殺氣を帶びたる爭の激烈なりしにも拘はらず候補者及運動員等は各節制自重したる爲め選擧違反と云ふが如き不都合の行爲毫もなく圓滿に結了したるは頗る滿足なりと山縣政務總監は語れりと

●屠殺料の改正 東大門及び西大門に於ける官立屠獸場にては今回屠殺料を改正したるが右は三日より實施することとなれり屠殺料は左の如し

▲牛一頭金一圓　▲馬同八十錢
▲羊同金四十錢　▲豚同四十錢
▲犬同金十五錢

●優學會例會 司法部優學會第九回例會は來る十一日開催の筈なりしが當日は紀元節に相當するを以て第三土曜日に開催すべしと云ふ

●通信局員の視察 總督府通信局各課長は今回各道郵便事務監督の爲め夫れ〱出張すべし

●齋藤少將の退京 團隊長會議に列席の爲め滯京せし齋藤少將は二日退京

●村田分隊長の巡視 村田第二憲兵分隊長は四日より三日間の豫定を以て高陽兵他管内の分遣所を巡視すべしと云ふ

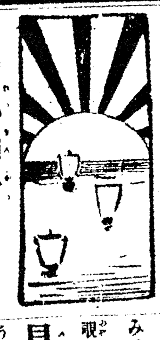
●清水鎌藏氏轉勤 愛國生命保險會社京城支店長たりし同氏は今回大阪支社に轉勤せり

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
二月三日	二二七、七四八、一六	三六九

▲治外法權▼

東京の新聞を見ると此秋には西園寺、寺内の聯立内閣が出來るとか、或は桂侯が朝鮮總督になつて寺内子が參謀總長に轉ずるとか、イヤモウ種々の臆說が載せてある、併し根が臆說の事故一々信ずるには足らぬ、只夫れ桂侯が朝鮮總督になると云ふ事だけは侯の對大陸抱負遂行上イツカ一度は有り得べきことだ▲昨本紙に韓銀と大官の預金と云ふ記事があつた右に對し韓銀からもまた總督府側からも取消しては來ぬ、尤も來ない方が道理だ事實だからね▲右の記事に就いて考ふるにまづ第一に疑いのは韓銀であるのだ、如何に預金吸收が商賣とは云へ、大官連の預金にだけ特別の高利を拂つて貯金獎勵とは何の事だ▲總督府の大官、开が俸給の嘗餘しを浪費しようと、將た貯蓄しようと彼等の自由であるのだ、故に彼等は俸給嘗餘の時代に於ては勝手に浪費したのである然、而るに今日に於ては心機一轉貯蓄に傾いたのであるのだ▲貯蓄、开だ、併し貯蓄と錢を愛するとは自ら別問題であるのだ▲今や半島の統治は上下共に艱難を凌ぎて一の奮起であるの困難の時機に在つて當政者は須らく身命を拋つて其の任を盡すべきであるのだ、斯る際に於て俸給の嘗餘を如何に有利に廻ソウカなどゝ心配するとは不埒千万な事だ▲況んや韓銀の高利勸誘に應じて預金に勉めたなどゝは沙汰の限りであるのだ▲聞說らく寺内總督は錢を愛し、預金帳を大切がる者を喜ぶところの人ではない、而るに何ぞ其部下の大官中に高利預金を爲すものが出たか▲親の心子知らずでマコトに厄介な事だ▲獨逸の皇儲殿下がペストの爲に膠州灣の御視察をお見合せになつたトコロが我皇儲殿下は去四十年中コレラ流行地なる、當京城へ御狂駕になつた、之に就いて吾人臣民は何と思ふて良いか▲民會議員の當選祝會、惡い事ではないが、あまりに子供ヂミタ事だ、民團の運命はマダきまらぬ、何すれぞ夫れ祝會酒に醉ひ得んやだ。



●龍山行　みや生

私は猶ても觀察し終つてこの女は實業家の娘ぢや無いと思つた、實業家の娘ならもう少し當世向きが交つて居なければならぬと思つた、すると何う云ふ人の娘であらう、要らぬことではあるが私は又首をかたげた、それにしても十分顔が見たいものであるが、向いた顔で生際の美しいのは知れ横顔の頬の色で光澤の好いのは知れるが、それ丈けでは心がひかぬのである、

脇に付き居る、肥れた下女は絶えず小聲で話し掛けるが令孃は靜かに受け應へるのみで自分から話しをする樣子は無い、

私は愈よ床しい樣に思つて横から緞かに觀察し終つて、世間にはこんな女もあるもんだなと思つた、

汽車は私に頓着なく進行する然かも急行であるから飛ぶよりも早い、

やがて車は龍山へ着いた、

第一に立上つたのは三人一緒の男女である、美しいのが眞先に、後へ男、その後へ中年增といふ順序で急々と降りて了ふ、第二には新聞記者、これは職掌だけに月下の狄へ一ッをくれてサッさと行く、次には飛人体の連中その次が例の兩人連れでその後へ令孃は下女を促かしてすいと立つた、

背はすらりと高い、肉付は中位である

それでも未だ垂頭れたまゝである、其所へ下部らしい男が來て三人連れ立つて出札を出る、新らしいハッピを着た車夫が三人令孃にれ辭儀を爲る、何所も出入をして居るものと見ゑて極丁寧である、

三人は車を連ねて西へ去つた、彼の兩人連は舊市街へ出る積りと見ゑどこかのれ妻さんに顔を聞いて振返りする、

私は兩人を付けて見やうと思つたがあまり罪だと思ひ返して所用を遂し歸途に着いた

活動寫眞　晝面子

三日　朝の南大門驛

夜は明けて朝日は麗かに硝子障子に射す、何處よりか鷄の聲が聞へる、晴天だなと思つて床を放れた、スリッパ輕く街に出づれば市場は既に鮮人が充ちて騒々しい。

停車場には郵便車二輛と人車四五輛のみで未だ人は見へぬ

喫茶店を覗けば例の**島田のメード**が**見へぬ**、何んだか物足りないようだとの十二字は小僧が密かに活字を投入したのである、一等室には、荒井と記した手荷物三個と、浦尾旅館、高月樓の紙札ある小包とがある。

手荷物扱所には、大垣行高木商店の行李四個と、仁川行大工連の行李とが積み重ねてあつて傍らには、日本漁業株式會社、永原壽太郎、東京品川と長き名の名刺あるカバンがあつた。

折柄人車を捨てゝ**二人の美形**が多くの美形に見送られて、いそ〱として來た。

皆春樓　君香
玉屋　玉榮

ではあるまいか、能く似た女だ、長き**苦海**の苦しみも、今は昨日の**夢**と消へて聽て咲くべき花の薫りもさぞや嬉しく**故園の春**を賞つるであらう午前九時、**釜山行列車**は、此美形の**笑顔**を**乗せて去**つた。

同九時十分　新義州行列車は寒さに凍る北路へ向つて去る。

驛を出づれば電車は古市町より疾走して來た、が驛前の停車僅かに寸秒、乗り得る人がない**不忠實なる車掌や運轉手**は、少しも乘客の便宜を謀らぬ、日日停電々々に苦しめられ尚彼此の不埒ある、市民の不便不利は此上なしである、鮮人を使用する會社たるもの、宜しく市民の便宜を謀るべく彼等を訓練して、親切丁寧、乘客本位として、充分滿足を與ふる事を望みたい。

透視されたる白瀨中尉

△ニユージランドを距る僅に三十哩▽

東京日々新聞社にては一月十九日正午十二時を期し、御船千鶴子、川崎進、山縣玉枝子、長尾夫人、臨崎孝作、與謝光子の六千里眼に對し開南丸の消息透視を依頼したるに期限迄には一人の透視報告に接せざりしより失望し居たるに去る二十七日附を以て秋田市中長者町なる與謝光子より左の透視報告に接したり

南極探險船開南丸の透視

一月廿七日午後八時卅分透視者光子先で目醒しを施し然る後自己催眠に入らしむ十五分にし開南丸に着せりと云ひ左の如く其狀況を語れり

開南丸は今ニユージランドを距る三十哩の地點にあり西北風に帆を孕ませて進航しつゝあり白瀨中尉は立派なる船室にありて書き物をしつゝあり他の船員は機械の傍にて働けり今夜は波穏にして海水黒みを帶びて甚しく氣候思ひの外寒しされば船員は皆甚だ厚着せり（原文の儘）

尚ほ同封與謝新次郎氏の書信に據るに光子の開南丸消息透視は病氣のため延引したるも廿七日學校より歸宅したる後午後八時半秋田魁新報社及び東北公論社記者立會の上にて之が透視をなしたる由なるが開南丸は其出發當時の豫定によれば去る廿九日巳にニユジランドに入港の筈なりしを以て廿七日にニユジランドを距る卅哩の地點にあるとの透視にして的中せりとせば一時間八哩乃至十二哩の速力を有せる開南丸は或は豫定より一も日早くニユージランドに入港するやも測れず何にしても開南丸がニユージランドに到着の上は直に南極探險隊後援會宛電報を發する手筈なるを以て果して光子の透視が的中したるか否かは或は今明日の内にも分明すべく頗る興味ある問題として只管探險船よりの電報を待ちつゝあり



折角れ骨折りを（民團議員）

●石原技師の公判

總督府休職技師石原銈太郎が收賄並に詐欺取財に依り其筋に拘引せられ豫審終決伊藤檢事の手にて收賄罪は舊韓國政府當時の犯罪にて罪を論せず詐欺取財の點に付公判に付せられし事は既報の如くなるが該事件は三日京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長伊藤檢事立會公判開廷せられ事實の審問に對し被告は犯罪の事實を否認せり事實の審理證據調終りて辯論に移り伊藤檢事は最然たる体にて犯罪構成の理由を明白に辯明し若し假りに被告主張の事實が正當なりとするも其の罪は免れず檢事は橫領罪に取る可く要するに本件は詐欺取財に因り所罰す可く法の適用に付ては充分考量を要す可く被告は元伊藤統監當時に招聘せられし者にして官吏を日本より招聘する統監政策總督政策の理由を說明し被告の如き數千圓の收賄を請負業者其他關係人より受け居る醜官吏は嚴重なる處罰を加ふ可き者なれば舊刑法を摘用し重禁錮二ヶ年の求刑を爲す旨の頗る痛快なる論告ありたり

●各署の鼠買上數

一日の捕鼠買上數西大門分署百四十七北部署百二十七南部署七十一東大門分署五十一銅峴分署四十八水門洞分署二十三龍山憲兵分隊十三同警察二十二

●帝國座主の詐僞

大阪北濱帝國座主と稱する川上秀二郎なる者二日午後三時壽座に來り川上音二郎一座の興行を約し手附金百五十圓を受取りたるも座主櫻井文太郎氏は不審に思ひ大阪に興行中の川上音二郎に打電照會せしに本人は知らぬ內地にては詐欺に掛る者多く其筋に捕る迄逃すな云々と返電來り尚ほ釜山座にても百七十圓同手段にて騙取したる由にて目下南部署にて取調中

●鮮人の行倒れ

龍山漢江通三丁目日韓瓦斯電氣會社雇人黃致鉉（三〇）は去る三十一日頃外出の儘歸社せざりし處陸軍衛戍監獄を距る東南約二丁の道路に沿ひたる溝渠內に變死し居りしを發見したるを以て其筋にて夫々手續きを爲せしが原因は寒氣の爲め病氣衰弱の結果行倒れたるものと判明

●チヨンドロ

南部倉洞の鮮人李龍福（十九）は目下龍山陸軍台同宿舍の傭人頭李は金の家に宿泊し居りしが昨日午後二時金の不在に乘じ金及妻の衣類數點を盜み出し逃走せんとせし處へ折能く金は歸り來り直に憲兵分隊に突き出され目下取調中なり

●仁川のボヤ

仁川金谷洞鄭聖鉉方溫突より一昨日午前九時十分頃火を發し既に大事に至らんとせしも附近の人々駈集り直ちに消止め損害なし

●仁川鼠買上數

二日は百四十九頭

●中檜姐さん腕比

妾さへ義理も世間も捨たなら三筋で斯んな苦勞もと世辭で丸めて浮氣で捏ねて、ハイ今晩は、ドーカた近い內、れ靜に、など列ぶる甘い文句か轉客樣の御意に召して黃金も線香の灰とまで焚き消した難有い御本尊、中檜姐さん一月の札顯は一番が二百八十七圓八十五錢と、ドエライ勢でア、是れから宜しく飛び出した有明樓の艶勇を一番とし蝶々（井）駒榮（松）れ多福（清）房江（花）力彌（松）小蓮魔（花）政子（井）八重松（松）花奴（花）若龍（清）小高（花）ゑみ（花）鶴香（井）やん茶（樂）勝次（花）奴（井）大助（清）八々（松）今奴（清）

●仁川藝妓の腕比

仁川花柳界一月中の美妓が本年の活動の初めとして奮闘したる結果二十名を擧れば久子（富士）玉勇（鱗）桃太郎（八坂）朝日（八坂）君枝（淺岡）九八（榮亭）福太郎（鱗）米蝶（富士）桝菊（淺岡）合邦（券番）笑子（鱗）八重山（八坂）桝子（淺岡）千代田（八坂）重之助（券番）榮太郎（榮亭）榮丸（榮亭）春日（八坂）金助（松山）榮吉（榮亭）

●壽座評

江戸趣味、江戸ッ子の僕が自然に渇仰するのは當然だ、講談師伯知來の報は僕をして壽座に向はしめたのは偶然でない、伯知の新進、帝都の一流を歷するの概は、二日夜の席上には惜ひ哉見出す事が出來なかつた、が开は彼れの罪でない、必竟土地が所謂江戸趣味なるものを味ふには餘りに懸隔があるからである、彼れの病餘尚ほ三席の講演は人に多とせねばならぬ、百の濁次よりも一の知己を誇るべき抱負を有せ、めたいのは只僕の贅言ではない、鯉かんの落語、宛然之れ下町の席亭其儘だ、差出しがツーホャがぼラーの滑稽に、床屋の親方左官の弟子共が突はする公園の色物、遠き京城に聞くを得たのは嬉しかつた、左なり左りながら僕は只氣の毒であつたとのみにて評を止める、最後に敢て壽座のみに云ふのではないが火鉢に布團驚くべし十五錢とは一体此處の芝居席亭の物價は高い加之れ茶子共の無禮雜言、大に改全して看客吸收の策に出づべきが得策であらう（寸評子）

●相合傘　紅生投

春の夫れらしき雨降る卅日の夜南山町に謨仙兄を訪ふ席上牛仙子あり四方八方の話しの末例の郡々公をうなる（但し一人一題一首づゝ）

首尾　白洞　謨仙
ほんに今宵は間も四疊半主と思はぬ拾ひ首尾

口車　五林堂牛仙
だますすてだてと知らずに浮かと乘つて口惜しあの口車

春の宵　花の家くれない
何にかひそ〱相合傘か闇に消へ行く春の宵

寺院と教會

●日蓮宗の節分會　旭町三丁目日蓮宗護國寺に於て四日午後七時より星祭並に說教ある由

●高野山の節分會　新町高野山に於ては四日午後一時より星供厄除祈願會執行倘大小寒修行も同夜にて結願に付法樂を擧げ詠歌有り參拜者へ護豆厄除符を分與有る由

●淨土宗青年會　明治町一丁目同會に於ては四日午後七時より廿四回講演會あり久家師の信仰談及有志の演說有由

●演藝だより

●京城座　大好評を博し居る兄弟義團四日の藝題は選擧餘聞寃罪十二場にて時世を巧に諷刺せる新脚色の頗る面白き藝題にて役割は代議士沼義雪（岩村）照子、れ蝶（堀江）春瀧德治（小泉）作兵衛（大町）武次（吉井）榮吉（藤澤）金次（江見）れ代（塚本）

●歌舞伎座　同座に於ける革新劇第二團は四日より三日間特に旭町日蓮宗護國寺の贊同を得日蓮宗の御德親子孝天罰蛇の執念と云ふ藝題の下に花々敷附演尙招待券持參の觀客に對しては特別割引ある由

●浪花館　引續き人氣好き大阪女義太夫竹之助一座四日の語り物は御祝儀寳入丹（入登）先代萩御殿場（瀧助）朝顔日記船別の段（越瀧）八陣八ッ目（若大）梅川忠兵衛新口村（土佐濱）安達ヶ原三段目（露八）三十三所靈驗（高助）御所櫻三段（當十才越子）三十三間堂平太郎內の場（越之助）總掛合としてれ半長右衛門帯屋電氣應用三味線鶴澤大三竹本三越なり

●壽座　松林伯知一座大車輪の講談



今日の運勢

二月四日舊正月六日乙巳赤口定節分△一白利益若くは援助ある日なり婚談届入れ子孫の事を舉ぐるに吉△二黑平和の日養子婚談に吉他の事進んで差支なし△三碧新事旅行見合せの事金品授受精算發祥故障起り易し△四綠諸事不如意の事多し金談婚談新事に凶負傷盜難防ぐべし△五黃失体疎漏を生ずる事あり酒色賭事を堅く禁ず△六白組合委託運搬裏審の行爲を禁ず新事旅行婚談金談効無し△七赤中傷誣妄に罹り易し不和紛爭を戒しむ新事旅行見合せの事△八白不平不服の生ずる事多し交際上及び決算精算上尤も注意すべし新事旅行見合せの事△九紫妨害を受け機會を破らる事あり新事旅行婚談貸借金談無効無し